# 宇部市立小中学校適正規模 · 適正配置計画

~将来あるべき学校の姿とその実現に向けた取り組みについて~



宇部市教育委員会 教育総務課

はじめる前に・・・

◆小中一貫教育

◆施設一体型小中一貫教育

◆義務教育学校

とは

### ◆小中一貫教育とは

・連続する小中学校で「めざす子ども像」(教育目標) を共有して、9年間を通じた系統性・連続性のある教育 活動を行うもの。

・ 令和2年度(2020年度)からすべての中学校区で導入。

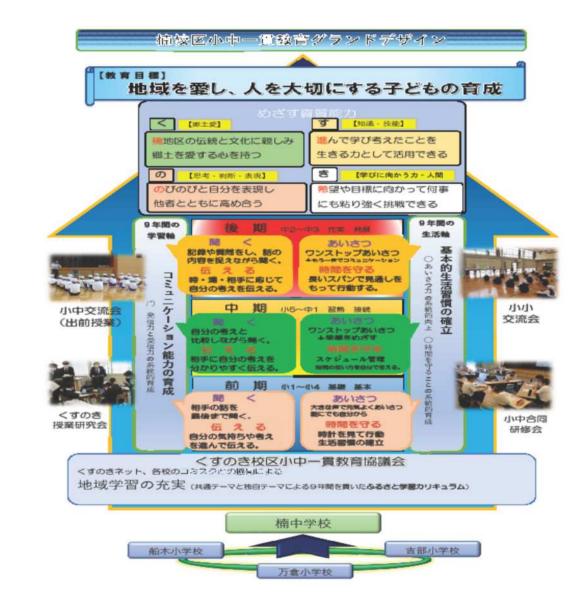
#### 【メリット】

- 中一ギャップの緩和や解消
- ・確かな学力の定着
- 異学年交流などによる精神的な発達

#### 【具体的な取組】

- 「めざす子ども像」を共有し、同じベクトルで児童生徒を育てる
- 9年間を見通したカリキュラムを実施
- ・小学校5・6年生で教科担任制
- ・ 小学生と中学生の交流授業
- ・ 小中教員による相互の乗り入れ授業など

#### 【参考】



#### 【参考】

#### 令和6年度 楠中校区 学校・地域連携カリキュラム **小1** 11/2 1/3 114 115 116 **+1** 中2 #3 楠中学校 むかしの遊び ●ようこそ失意! ●プログラミンク ●言部採訪 (生け売配達) 数束 吉部小 ★地域清掃 ★吉部っ子まつり ●校外体標学習 ●保育実習 ● 學教堂 ●施場体験学習 ◆赤間朝制性 ●赤間根度示会 品和采用色 ●岩戸神主物 (60米米州工事以下) ●立忠式 ●野菜づくり ●1-2=やおや 会社助問 ●世界物盘の生物 ●プロジェクトを ●ICT活用 (社会复学) 建調解決研究 (外閣株でのブレゼン) 万倉小 4月 万倉地区つつじまつり 書写作品展示 5月 千林尼石畳の清掃活動 揺き掃除等の清掃活動 地域道提活動 鉛末無区での清掃活動 10月 地域清掃活動 3小学校区での清極活動 千林尼石豊の清掃活動 掃き掃除等の清掃活動 船木地区ふれあい運動会 運営補助員 12月 船木ふれあいセンター門松づくり 製作補助員 ★総件体験 2月 認知症サポーター養成講座 講義・実習の受講 (田橋えー様パリ・脱動) (地域合同遊戲訓練) ●船木の防災 ●むかしの遊び ●町たんけん ●船木かるた 船木小 ★船木っ子まつり(全学年) ★顧割り班でお弁当給責 (全学年) ★船木留学(6年3校合門)

R6.8.5作成

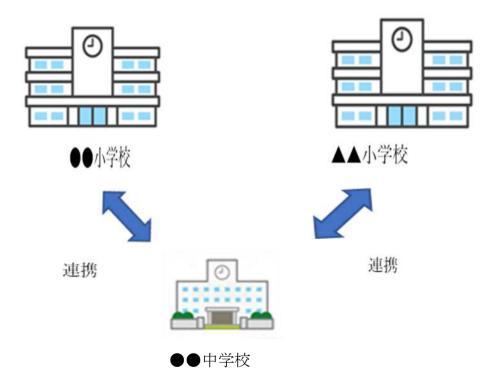
めざす姿



### ◆施設の形態

#### 従来の小中一貫教育

(施設隣接型・分離型)



#### 施設一体型小中一貫校



同一敷地内に、小学校と中学校を設置する施設整備の形態

### ◆学校の形態

	小中一貫型小学校・中学校	義務教育学校
校長	小学校・中学校に1人ずつ	1人
教職員組織	小学校・中学校に1つずつ	1つ
学年	小学校 6 年 中学校 3 年	1年生から9年生

## 計画の説明

### 宇部市立小中学校適正規模 · 適正配置計画

◆計画期間

令和6年度(2024年度)から令和15年度(2033年度) までの10年間

計画策定5年後には必要に応じて見直す。

### ◆学校のあるべき姿

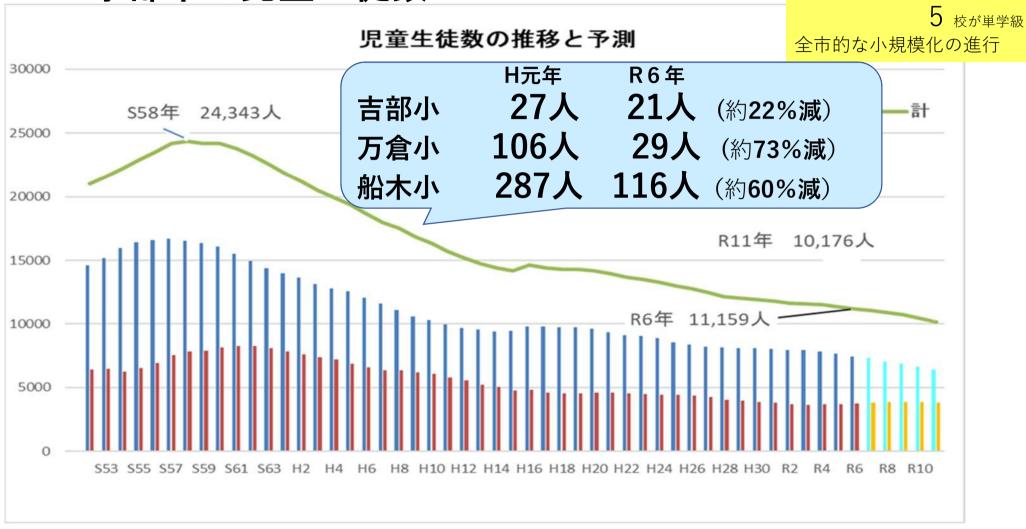
児童生徒が、多様な考え方に触れ、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていける 集団規模と、安心・安全な教育環境のもとで、地域と連携を図りながら、義務教育9年間を見通したつながりのある教育を提供することにより、児童生徒の確かな学び(健やかな成長)を保障できる学校

#### 【理想形】

児童生徒の社会性を育むことができる集団規模を有し、校区の中心に位置する同一敷地内に小中学校がある義務教育学校

# 宇部市の現状と課題

#### 1 宇部市の児童生徒数



3

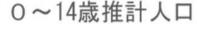
学校規模(令和6年5月1日現在)

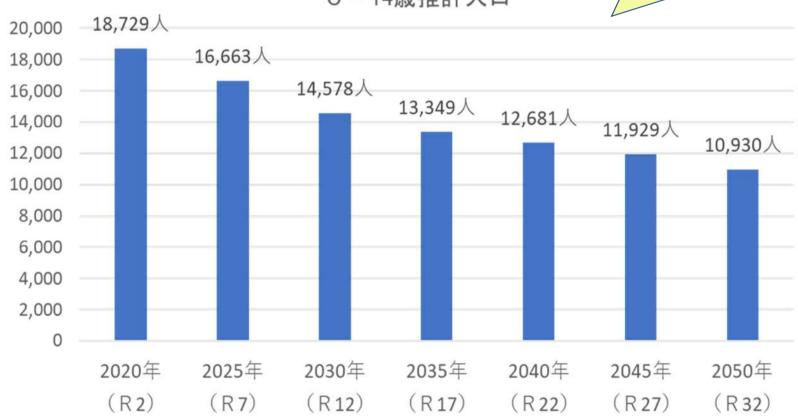
4 校が複式学級

24小学校

#### 本市の将来推計人口

30年間で7, 799人 4 2 %減少





出典:「日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023)年12月公表)」 (国立社会保障・人口問題研究所)

#### 2 小中一貫教育

#### ■小中一貫教育とは

連続する小中学校で「めざす子ども像」を共有して、9年間を通じた系統性

- ・連続性のある教育活動を行うもの
- ⇒「**中ーギャップの緩和や解消」「確かな学力の定着**」などの実現を目指す



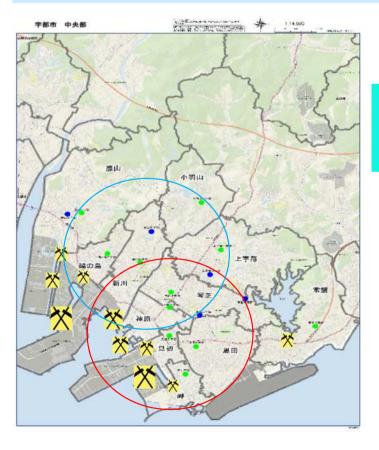
#### 令和2年度からすべての中学校区で導入



進学先が分かれる小学校では、どちらか一方の中学校と連携することとなるため、連携先でない中学校に進学する児童については、系統性・連続性のある教育活動が難しい

#### 3 学校選択制

通学区域の弾力化を図るため、学区の一部の自治会に居住する児童生徒が、 住所地の属する学区の学校(就学校)に加えて、隣接学区の学校を選択で きる制度





平成20年度から通学区域に偏りが生じている学校で導入



利用者の増加により本来の就学校で大幅に 入学者が減少している学校がある

### 4 学校施設

施設(校舎)の建設年度一覧

令和6年4月1日現在

	小学	校名		経過年数		中学校	4月1日現在		
				70年以上	藤山	常盤			
	藤山	神原	鵜ノ島	69年~ 築60年	桃山	厚南			
恩田	新川	原	万倉	59年~ 築50年	西岐波	東岐波			
厚南	上宇部	上宇部 常盤			楠				
厚東	小羽山	西宇部	見初	49年 ~ 築40年					
			吉部						
川上	船木	琴芝	黒石	39年 ~ 築30年	川上	黒石	神原		
		小野	二俣瀬	29年 ~ 築20年	上宇部				
			西岐波	19年 ~ 築10年	厚東川				
			岬	築10年 未満					

### ◆課題解決に向けた取組の方向性

### ①小中一貫教育の推進

進学先が分かれる小学校の解消を図る

### ②望ましい学校規模の確保

一定の集団規模を確保するための基準(適正規模・ 適正配置基準)を定めて、通学区域の変更や適正配 置の検討を進める

### ③学校施設の整備

学校施設の更新時期を踏まえた、学校の統廃合の検 討を進める

### ◆望ましい学校規模と学校配置の基準

#### 《適正化のための地域区分》

市街地地域:北部地域以外

北部地域:厚東、二俣瀬、小野、船木、万倉、吉部

#### ■望ましい学校規模の基準

	市街地地域	北部地域
小学校	12学級以上(1学年2学級以上)	6学級以上(1学年1学級以上)
中学校	6学級以上(1学年2学級以上)	3学級以上(1学年1学級以上)

#### ■望ましい学校配置の基準

	通学距離	通学時間
小学校	おおむね4Km以内	おおむね1時間以内
中学校	おおむね6Km以内	おおむね1時間以内

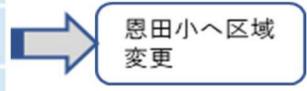
### ◆配置の適正化に向けた具体的な取組

### ①小中一貫教育の推進

一つの小学校からは一つの中学校の進学となるよう、中学校の通学区域 を優先的に見直し、必要に応じ小学校の通学区域の見直しを行う。

#### 【進学先が分かれる小学校の中学校区域の再編】

	· -		
	現在の進学先	再編後	対象地区
常盤小	西岐波中・常盤中	西岐波中	常盤全区
琴芝小	上宇部中・常盤中	神原中	琴芝全区 (琴芝1区から1-10区を除く)
		常盤中	琴芝 1区から1-10区
鵜ノ島小	桃山中・藤山中	藤山中	鵜の島全区



### ②望ましい学校規模の確保 検討対象校

《市街地地域の検討対象校》 岬小学校、見初小学校、神原小学校、鵜ノ島小学校

《北部地域の検討対象校》

厚東小学校、二俣瀬小学校、小野小学校、 万倉小学校、吉部小学校

複数の学校が集中し、老朽化が進んでいる学校がある市街地地域の検討 対象校から優先的に取り組む。北部地域は当面の間、今の学校を維持する

### ③学校施設の整備

施設一体型小中一貫校または義務教育学校の設置を目指す

### 【市街地地域の適正化の方向性】

- ■検討対象校:見初小学校、神原小学校 3小1中(見初小、神原小、琴芝小、神原中)の施設一体型 小中一貫校の設置に合わせ統合を進める
- ■検討対象校:鵜ノ島小学校 2小1中(藤山小、鵜ノ島小、藤山中)の施設一体型小中 一貫校の設置に合わせ統合を進める
- ■検討対象校:岬小学校 本計画期間中は、適正化は行わず小規模校のメリットを活か した教育の充実を図る

### 【北部地域の適正化の方向性】

■検討対象校:厚東、二俣瀬、小野、万倉、吉部の各小学校

令和11年度時点で5年先までの児童数の推移が、

1学年2人相当である、学校全体で12人未満

(住民基本台帳上の推計値)の見込みとなった場合 は適正化を推進していく。

### ■学級数と児童数 の比較

令和6年度					校数	学級数	校数		令和	11年度推	舍計	
	複式学級	二俣瀬 (20)	小野 (21)	吉部 (21)	3	3	2	二俣瀬 (14)	小野 (9)	吉部 (9)	万 <b>倉</b> (18)	複式学級
複式学:	<b>万倉</b> 複式学級と単学級 (29)				1	4	0					
	単学級				0	5	0	厚東 (48)	複式学級と単学級			
岬 (140)	船木 (116)	鵜ノ島 (112)	見初 (96)	厚東 (69)	5	6	1	神原 (167)	岬 (102)	船木 (89)	鵜ノ島 (106	見初 (76)
					0	8	3	西宇部 (196)		単学	:級	
1~2=	1~2学級/学年			0	10	0	小羽山 (221)		1~2学	級/学年		
		原 (261)	西宇部 (247)	小羽山 (277)	3	11	1	川上 (285)				
川上 神原 琴芝 (385) (315) (284)				3	12	1	新川 (315)	原 (260)				

### ◆計画の進め方と配慮事項

#### (1) 計画の進め方

#### 地域説明会の実施

- ・保護者
- ・未就学児の保護者
- ・地域住民など

本計画の内容を説明し 周知を図ります。



#### 地域別協議会等の設置

- ・保護者代表
- ・未就学児の保護者代表
- ·地域住民代表
- ・学校関係者など

市街地地域では再編の 時期や新しい学校のあ り方などご意見をいた だき、共通認識を図り ながら計画を進めてい きます。



#### 学校別統合準備会等の設置

- ・保護者代表
- ・未就学児の保護者代表
- ・地域住民代表
- ・学校関係者など

新設校の設置が予定される地域では、校名、 校歌、通学路の安全対 策等の検討を行います。

### (2) 配慮事項

- ①児童生徒の不安解消
  - 事前の交流機会の充実と再編後のきめ細やかなケア
  - 緩やかな移行に向けた仕組みの検討

### ②児童生徒の通学支援

- ・スクールバスや公共交通機関の活用
- 学校と保護者や地域の連携

### ③小規模校の課題への配慮

・中山間地域では、特認校制度の活用や移住定住策の 推進に地域や市長部局と連携し取り組む。

#### 再編スケジュール

	R6年度 (1年目)	R7年度 (2年目)	R8年度 (3年目)	R9年度 (4年目)	R10年度 (5年目)	R11年度 (6年目)	R12年度 (7年目)	R13年度 (8年目)	R14年度 (9年目)	R15年度 (10年目)		
藤山中				中学校区の再編 (藤山小・鵜ノ島小)								
藤山小	地域説明	地域協議 再編準備		2小1中 小中一貫校 基本設計	実施設計	施工				2小1中 小中一貫		
		丹欄	牛浦	開校準備委員会設置(開校に向けた検討・準備)						校開校		
隣ノ島小						藤山中学	校へ進学			t		
w. <del>c.</del> .					中学	校区の再編	(見初小・神	申原小・琴芝	小)			
神原中神原小		地域協議 再編準備		<b>西海洲</b>		地域	協議			3小1中 小中一貫校 基本設計	実施設計	施工 R19年度 開校目途
琴芝小	地域説明			(3小1中小	The state of the s		開校準備委員会設置 (開校に向けた検討・準備)					
見初小	l ⊢									7		
		神原小	ト・琴芝小との	の交流や合同学習・小規模校のメリットを活かした教育の充実(R19年度新設一貫校へ)								
常盤中		地域	協議	中学校区の再編 (恩田小・岬小)								
恩田小	地域説明	再種	準備	小学校区の再編(琴芝小の一部編入)								
岬小		恩田小との	交流や合同学	学習・小規模校のメリットを活かした教育の充実								
西岐波中		tip tag	地域協議 中学校区の再編(西岐波小・常盤小)									
常盤小	地域説明	再權		西岐波中学校に進学								
厚東小					The same of the same of							
二俣瀬小	14 14 14 17				R11年度時点で5年先までの児童数を確認し、							
小野小 吉部小	地域説明	トを活かした教育の充 連携した児童生徒増加		で実、地域や市長部局と 児童数の推移が学校全体で12人未満の □策の推進 となった場合は適正化を推進						×4		
万倉小		AE 15 C / _ /C	<b>E</b> _ 16-26 /10	水の推進			J /= - 10 E ( - )	3 T 10 C 1E A	-	/		
【関連校	:]											
桃山中				中学校区の再編(小羽山小・新川小)								
上宇部中	地域説明			中学校区の再編(上字部小)								

### 小規模校のメリット

- ・補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が 行いやすい。
- ・意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- ・一人ひとりがリーダーを務める機会が多くなる。
- ・地域の協力が得やすく郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。

### メリットを活かした取組

- ・ I C T (電子黒板・タブレット端末等)を効果的に 活用
- ・異年齢活動や共同学習を計画的に実施 など 小規模校のデメリットの緩和策
  - ・他校との合同授業を継続的、計画的に実施
  - ・地域人材の参画により社会性を育てていく機会を 確保

#### ◆地域とともにある学校

#### 吉部小学校区

#### ◆小中一貫教育の取組



ほたる祭会場清掃



ガーデニング講座苗植え





稲刈り体験



家庭科 ミシンボランティア



6年生 船木留学 楠3小で交流授業



5・6年生 万倉小とオンライン交流



万倉小1・2年来校 交流

#### ◆地域とともにある学校

#### 万倉小学校区



つつじまつり、万倉天満宮大祭の参加



田植え体験

やおや in 楠こもれびの里





#### ◆小中一貫教育の取組

1.2年生 吉部小との交流学習



1.2年生 楠3小との交流



6年生 3小で交流授業で中学生の授業風景参観



次の時代を担う子供たちにより良い教育環境を整えるために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

ご清聴ありがとうございました。